

つばきグループの「ここがポイント」

ーグローバル・ベストに向けてー

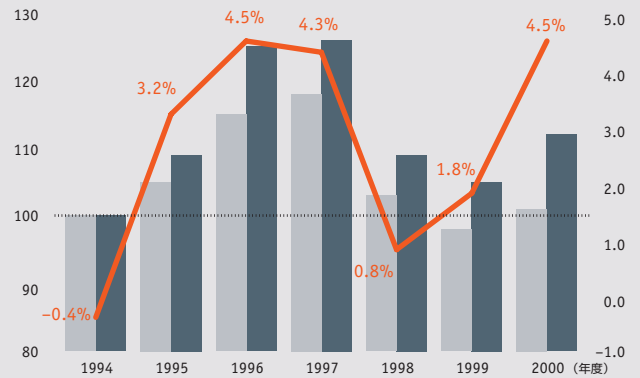
■ グローバル・ベストへの成長ステージ — 過去・現在、そして未来

景気次第で業績が大きく揺れ動いた90年代の私たちの姿。

その脆弱性を「技術基盤の強化」、「財務基盤の強化」や「得意分野への集中」などで克服してきました。

そして今、その経営基盤を「グローバル」に活かすことで持続的な拡大成長を目指しています。

業績が国内景気に大きく左右された時代



- 日本の設備投資総額 (1994年度=100)
- 連結売上高 (1994年度=100)
- 連結売上高経常利益率 (右軸)

■ グローバル・ベストのために整えてきた資格要件

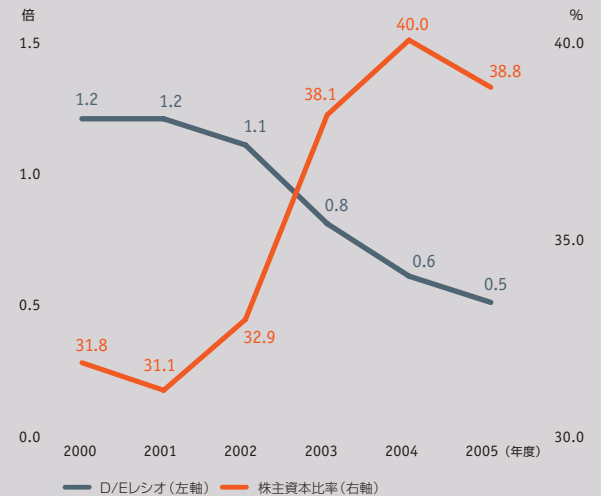
1. 差別化された技術・品質に裏打ちされた市場シェア

	日本	世界
チェーン	63%	21%
自動車部品		
タイミングチェーン	73%	33%
精機		
カムクラッチ	80%	
パワーシリンダ	50%	
マテリアル・ハンドリングシステム		
自動車塗装ライン	35%	
新聞業界向けシステム	80%	

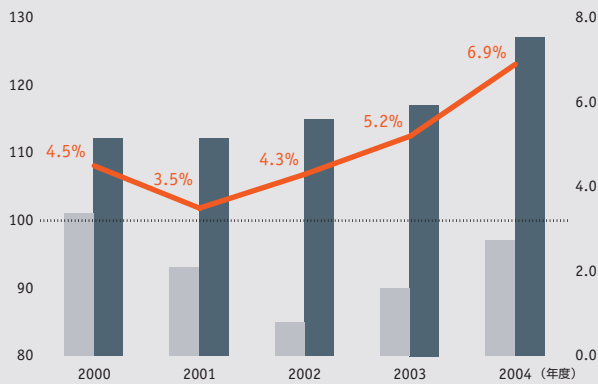
* 当社調べ

2. 強固な財務体質

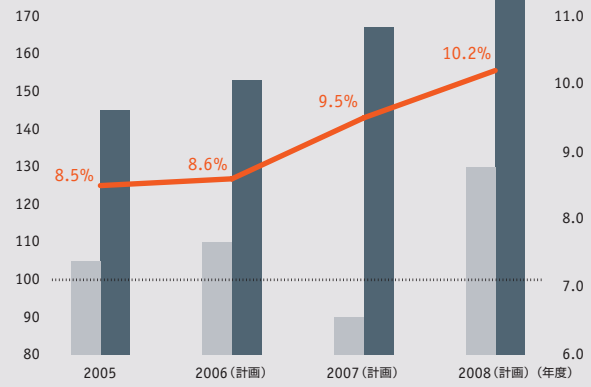
主要財務比率 (連結)



脆弱さを克服し持続成長への
地盤固めの時代



グローバル化加速による
拡大成長の時代



■ グローバル・ベスト実現の背景 — 構造的な外部環境変化と戦略

1. 構造的な外部環境の変化

—日本国内—

- 高付加価値製品を中心とした製品の増産投資の復活
- 生産性向上投資の増加

—海外—

- 自動車部品の開発・調達におけるグローバル化の加速
- 自動車エンジンのタイミングドライブシステムのチェーン化加速
- 中国の国際的地位の持続的な向上
- 生産性向上投資の増加

2. 対応戦略

- コア商品への経営資源の集中
- 一層のコスト削減
- 生産・開発体制のグローバル化(5極体制)の加速
- 品質・技術における優位性の訴求とアライアンスによる世界シェア拡大
- 中国における生産・営業拠点の拡充
- 経営のグローバルスタンダード化の加速